

緩やかな持ち直しの動きがみられる

(前回:緩やかな持ち直しの動きがみられる)

生産は持ち直しの動きがみられる。輸出は2か月連続の増加。
個人消費は足踏み。雇用は全体として持ち直している。

■ 8月生産:持ち直しの動きがみられる

(7月:持ち直しの動きがみられる)

- 鉱工業生産指数 108.5
前月比 ▲3.2% (3か月ぶり)
前年同月比 +2.5% (3か月連続)
- 全13業種中、上昇は1業種
化学・石油石炭製品工業
- 低下は12業種
電子部品・デバイス工業、汎用・生産用・業務用機械工業、金属製品工業、鉄鋼・非鉄金属工業 等

(出所:九州経済産業局)

■ 8月輸出:増加(2か月連続)

(7月:増加)

- 輸出額 7,944億円
前年同月比 +7.1% (2か月連続)
- 主要品目
電子部品 1,865億円 +10.7% (2か月連続)
自動車 1,735億円 ▲1.7% (2か月ぶり)
鉄鋼のフラットロール製品 502億円 ▲15.3% (6か月連続)
- 国別
中国 1,414億円 +9.2% (4か月ぶり)
韓国 946億円 ▲13.8% (4か月連続)
米国 830億円 ▲11.6% (2か月ぶり)

(出所:財務省)

■ 8月個人消費:足踏み

(7月:足踏み)

- 百貨店(全店) 357億円 +2.0% (7か月ぶり)
- スーパー(全店) 1,182億円 +2.5% (16か月連続)
- コンビニ 1,167億円 +1.7% (6か月連続)
- 家電大型専門店 289億円 +1.1% (2か月ぶり)
- ドラッグストア 750億円 +3.0% (39か月連続)
- ホームセンター 281億円 ▲6.0% (2か月連続)
- 新車登録台数 27,439台 ▲6.8% (2か月連続)

(出所:九州経済産業局ほか)

■ 8月雇用:全体として持ち直している

(7月:全体として持ち直している)

- 有効求人倍率 1.13倍
前月比▲0.04ポイント(2か月ぶり)
- 新規求人倍率 1.95倍
前月比▲0.05ポイント(2か月ぶり)
- 新規求人数
医療・福祉、卸売業・小売業、建設業、製造業、宿泊業・飲食サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

■ 業況:悪化

- 9月の業況DI (%ポイント)
全産業 +19 変化幅▲2
製造業 +9 変化幅▲2
非製造業 +24 変化幅▲2
- 先行き(12月)
全産業 +18 変化幅▲1
製造業 +12 変化幅+3
非製造業 +21 変化幅▲3

(出所:日本銀行福岡支店 短観9月)

■ 設備投資:増加

- 24年度
全産業 ▲9.6%
製造業 ▲12.5%
非製造業 ▲4.1%
- 25年度(計画)
全産業 +5.0%
製造業 +10.6%
非製造業 ▲4.9%

(出所:日本銀行福岡支店 短観9月)

■ 8月住宅建設:減少(5か月連続)

- 新設着工戸数 5,324戸
前年同月比 ▲22.9%
(5か月連続)
- 持家 1,835戸
▲16.2% (5か月連続)
- 貸家 2,403戸
▲19.1% (5か月連続)
- 分譲 1,066戸
▲36.6% (2か月ぶり)

(出所:国土交通省)

■ 8月公共投資:増加(4か月連続)

- 工事請負金額 1,361億円
前年同月比 +2.5% (4か月連続)
- 発注者別前年同月比
国 +2.0%
独立行政法人等 ▲40.0%
県 +23.0%
市町村 ▲3.5%

(出所:西日本建設業保証㈱)

■ 8月倒産:増加(2か月連続)

- 倒産件数 65件
前年同月比 +32.7%
- 負債総額 55.0億円
▲44.6% (2か月ぶり)
- 業種別件数(前年同月比)
製造業 4件 (+33.3%)
卸・小売業 19件 (+58.3%)
建設業 15件 (+275.0%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。